

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		利用人数に対して適切なスペースを確保しております。また、机の位置を工夫し、学習スペースと活動スペースを分けております。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	5		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。職員は法令の定めた基準を満たして配置され、全員が資格者で構成されております。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	療育スペースでは余剰・個別療育・集団活動のスペースをわかりやすく分けて活動をおこなっております。また、事業所内は床がフラットになっており、活動しやすい環境となっております。	事業所が2階にあるため、階段など配慮が必要な箇所があります。バリアフリー未対応で車いすの利用がある場合はスムーズな利用は難しいです。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		常に清潔を心がけ、療育終了後は整理整頓と清掃活動をおこなっております。児童にとって安全で安心できる生活空間を意識しております。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		スペースをいくつかに分け、個別で使用できる環境を整えております。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		定期的なリフレクション会議をおこない、職員が意見を出し合う機会を設けております。会議の内容は議事録を作成し、情報共有に努めております。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		定期的なアンケートによる評価を実施しております。いただいたご意見やご要望は周知・検討し、順次改善に努めております。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		定期的なリフレクション会議をおこない、職員が意見を出し合う機会を設けております。会議の内容は議事録を作成し、情報共有に努めております。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5		法人で編集した職員研修の動画コンテンツをもとに、事業所内で研修を実施しております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		公式Webサイトにて公表しております。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		定期的なアセスメントを実施し、児童の特性や課題、保護者のニーズを踏まえた支援計画を作成しております。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		児童発達支援計画を作成する際は、児童発達支援管理責任者が保護者様のご意向を伺ったうえで、支援に関わる職員と会議を開き、検討しております。		
	14 児童発達支援計画が職員間共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		児童発達支援計画は、支援に係る職員全員に周知し、計画に沿った支援の提供をおこなっております。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		標準化されたツールを用いて日々の行動観察や経過を記録し、評価・確認をおこなっております。		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		保護者様と児童のニーズを汲み取り、ガイドラインで示された支援内容の各項目を盛り込んで、具体的な支援計画を作成しております。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		各職員のアイデアや意見を取り入れ、季節や年齢に配慮した活動内容の計画を立案しております。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		個々の成長や特性に合わせて、固定化しないよう活動プログラムを考へております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせ、個別性・多様性のある計画を作成し、支援をおこなっております。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		支援開始前に送迎・療育など一日の流れや支援内容、各職員の役割分担の確認をおこなっております。		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		送迎終了後や翌日の朝に振り返りをおこなっております。また、内容を記録することで、不在であった職員も情報共有できるように努めております。		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		毎日支援記録を取り、検証・改善は職員間で活発に意見交換をおこない、支援の質の向上に努めております。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングをおこない、計画内容の評価と支援計画の見直しをおこなっております。		
	関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		担当者会議には児童発達支援管理責任者が参加しております。	
		25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		保育所等訪問支援が、保護者様のない場所と時間帯に提供されるサービスであることも踏まえ、訪問支援の内容に加え、訪問先での児童の様子や、周りの児童や訪問先施設の職員等との関わり状況を丁寧に伝えるよう努めております。	事業所は重症心身障害児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		5		関係機関との連携を図り、情報共有や支援内容に関する助言などをとおこない、移行に向けた支援をおこなっております。		
27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		5		小学校などへの進学時には、保護者様のご意向を確認したうえで、進学先との情報共有に努め、相互理解を図ってまいります。		
28 (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。		5				
29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		5				
30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		5				
31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		5		ご相談があった際には、保護者様や児童に寄り添いながら助言などの対応をおこない、適切な支援の提供に努めております。		
32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		保育所や障がいのない児童などとの活動の機会はありませんでした。	保護者様のご意向をうかがいながら、交流の機会と参加の仕方を模索してまいります。	
33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。		5		連絡アプリの記入や送迎時にその日の療育内容や児童の様子をお伝えしております。また、保護者様からはご家庭での様子などを伺い、情報共有に努めております。		
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		定期的に通信などを発行し、活動概要や連絡体制などの情報を児童や保護者様に対して発信しております。	ご家族が参加できる研修などの機会はありません。保護者様のご意向をうかがいながら、研修の機会や情報提供をおこなってまいります。	
保護者への説明等		35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に運営規程や利用者負担などについて丁寧に説明しております。あわせて、質問や不明点がないかを確認しながら進めております。	
		36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		保護者様のご意向をうかがい、優先考慮の観点を踏まえたうえで支援計画を作成しております。	
		37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		保護者様には支援計画の内容を丁寧に説明し、同意を得るよう努めております。	
		38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言や支援を行っているか。	5		ご相談があった際には、保護者様や児童に寄り添いながら助言などの対応をおこなっております。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		今年度は保護者会など開催はできておりません。	保護者様のご意向をうかがいながら保護者会等の開催を検討してまいります。	
	40 こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		保護者様よりいただいたご意見は、全職員で話し合いの場を設けて共有し、迅速に対応できるよう努めております。		
	41 定期的に通信等が発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		公式Webサイトや事業所より定期的に情報の発信をおこなっております。		
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。		
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		それぞれの特性を理解し、わかりやすい情報伝達手段で意思の疎通を図っております。		
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		地域住民の方を招待する企画運営はできておりません。	保護者様のご意向をうかがいながら、交流の機会と参加の仕方を模索してまいります。	
	非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各種マニュアルを作成し、入口付近に掲示しております。保護者様には契約時に詳しく説明をおこなっており、職員にも周知しております。	
		46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		業務継続計画(BCP)を策定し、非常災害を想定した訓練の年間計画を立て、児童も参加して訓練をおこない、災害に備えております。	
		47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	5		事前に服薬や発作などの情報について聞き取りをおこなっております。情報は職員全員が把握し、緊急事態に適切な対応ができるよう配慮しております。	
		48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		事前に服薬や発作などの情報について聞き取りをおこなっております。情報は職員全員が把握し、緊急事態に適切な対応ができるよう配慮しております。	
		49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		非常災害を想定した訓練の年間計画を立て、児童も参加して訓練をおこない、災害に備えております。	
50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		5		避難訓練をおこなった際には、事業所より事前に内容や様子を保護者様にお伝えしております。また、緊急時の避難場所などをご家族に周知し、児童の安全確保に関して連携を図られるよう努めております。		
51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		5		ヒヤリハットは報告書を作成し、全職員で共有をおこなっております。事例をもとに再発防止に努めております。		
52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		5		事業所内で虐待に関する勉強会を実施し、虐待防止に全職員で取り組んでおります。		
53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		5		身体拘束については原則としておこないません。やむを得ず必要となる場合には、事前に児童や保護者様へ十分な説明をおこない、承諾を得たうえで、児童発達支援計画におき、承諾を得た必要な状況や方法を記載し、適切に対応してまいります。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。